

お申込み方法

受講料を入金の上、以下のフォームを使って千葉県学童保育連絡協議会へお申し込みください。QRコードからもアクセスできます。



<https://forms.gle/EL8FCWzQJuxa2WT86>

※chibagakudokenshu@gmail.com から自動返信メールが届きます。
設定を受信可能にしておいてください。

■振込先口座 ゆうちょ銀行 00110-2-79615 名義：千葉県学童保育指導員学校
他銀行からは 0-9(ゼロイチキョウ)店 (019)当座0079615
振込み手数料については振込人負担になりますので、ご了承ください。

■5月6日(金)から23日(月)までの間にお申し込みください。

●講座の変更、返金は原則できませんのでご了承ください。また、締め切り日以降に社会的事情、自然災害等の主催者側判断により中止する場合は、当日の資料をお送りすることで受講料と代えさせていただきます、返金はいたしません。

■個人情報の取り扱い

●いただいた個人情報は、本指導員学校運営に関する業務、および各種研修等の受講案内に関する業務に必要な範囲で、全国学童連絡協議会の管理責任のもと、本指導員学校を運営する連絡協議会と共同利用いたします。詳しくは、全国学童保育連絡協議会のホームページをご覧ください。

■お問い合わせ

この研修のお問い合わせは、千葉県学童保育連絡協議会
chibagakudo@nifty.com へお願い致します。

●FB: 全国学童保育指導員学校南関東会場にてご案内。
●HP: 千葉県学童保育連絡協議会 <http://chibagakudo.hiho.jp>

※「日本の学童ほいく」は全国学童保育連絡協議会発行の学童保育の専門冊子です。バックナンバーの販売もしています。各地の都道府県連絡協議会や全国学童保育連絡協議会までお問い合わせください。

全国学童保育連絡協議会 TEL● 03-3813-0477
● <http://www2s.biglobe.ne.jp/~Gakudou>

■おねがい

- 受講にはZoomアプリが必要です。必ず事前にダウンロードしてください。
- 1つの端末で複数の方にご受講いただくことは可能です。ただし、受講する人数分のお申込みをお願い致します。また、複数名で受講される場合はできるだけPC、タブレットでお願い致します。
- お申し込みいただいたご希望の講座を受講できます。
- 安定した受講環境の確保のため、PC、タブレットのインターネットへの接続は、Wi-Fiではなく、LANケーブルを使った有線接続をお勧めします。
- 全体会及び午後の講座のZoomのURL、ミーティングID、パスワードをメールでお送りします。また、討議資料は申込資料送付先の住所宛に準備ができ次第5月の下旬ごろからお送り致します。
- 領収書が必要な場合は、ご連絡ください。

3万4000人が読んでいる
唯一の学童保育月刊誌!
あなたも購読してみませんか?



放課後児童支援員等の資質向上のためのオンライン研修会
新型コロナウイルス感染症禍における子ども支援を学ぶ研修会

第47回 全国学童保育指導員学校

南関東会場

主催：全国学童保育連絡協議会 千葉県学童保育連絡協議会
後援(予定)：千葉県



2022年
6月5日(日) 10:00~16:30

- オンラインシステムZoomを使用
- 受講料 2,500円(税込・一人あたり)

9:15から全体会入室開始

12:45から午後の講座入室開始



●日程	入室受付	10:00	全体会	12:00	休憩	13:30	講座(10講座)	16:30
-----	------	-------	-----	-------	----	-------	----------	-------

- 基調報告●
全国学童保育連絡協議会
- 全体講義●

今大切にしたい学童保育の“なかま”

～つながる・つなげる 子どもたちが安心してあそび、育ちあうために～

コーディネーター 高橋 誠(東京都文京区指導員)・パネラー 飛鳥井祐貴(神奈川県横須賀市指導員)

パネラー 小野さとみ(東京都町田市指導員)・パネラー 後藤隆章(静岡県富士市保護者)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために「3つの密」(密閉、密集、密接)を避けることが、学童保育でも求められました。子ども・保護者・指導員それぞれが人と人のつながりを持ちにくくなり、不安や葛藤を抱えてきたことと思います。この2年余りの体験を通して見えてきた学童保育における生活で大切にしたいことを、今みなさんと改めて考えてみたいと思います。

午後の講座 13:30～16:30

講師の敬称は略させていただきます

*『改訂・テキスト学童保育指導員の仕事』対応箇所

基礎講座 指導員としての基礎的な内容を学びます

基礎講座

1 学童保育とはなにか、指導員の仕事・役割はなにか

講師 ● 清水純子(東京都目黒区指導員)

学童保育は子どもたちが安心してあそび、育ちあう生活を保障することで、保護者の労働、家庭の養育を支えています。子どもたちが安心して学童保育に帰ってこられるように、指導員は子ども一人ひとりを理解し、生活の見通しを持って子どもに寄りそう支援が求められます。この講座では、指導員の仕事・役割、生活づくりで大切にしたい視点などについて具体的に学びます。*第1課・第2課・第8課

2 学童保育の一日と指導員の仕事・毎日の実務

講師 ● 中澤直子(東京都武蔵野市指導員)

子どもたちとどう過ごせばよいのか悩んでいませんか。宿題、おやつ、あそび、片づけなど子どもたちの一日の生活の流れをどのように作り、どのようなねらいを持って組み立てていくのか、また、指導員間の打ち合わせ等の事前準備、保育記録の作成、保護者や学校、関係機関との連携など具体的な指導員の仕事と実務を学びます。*第1課3・第4課・第5課6・第6課・第7課

3 子どもを理解するための日々の記録

講師 ● 飛鳥井祐貴(神奈川県横須賀市指導員)

日々の保育を記録することは、指導員自身が保育内容を振り返って確かめ、より豊かな実践をつくっていくうえで大切な仕事です。保育のなかで起きたことや状況などを、記憶に頼るのではなく、毎日の記録に残すことは子ども理解や保護者との伝えあいなどにも不可欠です。記録する必要性や工夫、配慮などについて学びます。*第5課6(2)・第7課1

実践講座 指導員の仕事を実践的に学びます

実践講座

4 学童保育の生活とあそび

講師 ● 内海洋子(神奈川県平塚市指導員)

コロナ禍においてあそびも様々な制限されています。しかし、子どもたちはあそびのなかで、いろいろな発見を楽しんだり、人間関係を育んだりしています。子どもにとってのあそびは、何かのためにするのではなく、それ自体が目的です。放課後の生活のなかで子どもと一緒に喜び、悩む指導員がいるからこそ、子どもたちはあそびに夢中になることができます。学童保育の生活のなかで、子ども自身が『主体的に』あそぶことの大切さとあそびの意味について、あらためて確認し学びます。*第4課1、2

5 子どもの生活を保護者と伝えあう

講師 ● 小野さとみ(東京都町田市指導員・全国学童保育連絡協議会)

保護者に子どもの様子を伝えるとき、なにを大切にしていますか？ なにを・どのように・どのタイミングで・なぜ伝えるのか。保護者の就労、家庭を支えるために、指導員の仕事として伝えること、保護者とつながる、保護者同士をつなげる、そして保護者とつながり合うことのできる関係を育むことの大切さを学びます。*第8課



6 学童保育における安全を考える

講師 ● 八木晶子(神奈川県横浜市指導員)

学童保育の役割は、子どもたちに安心して安全に過ごせる継続的な「生活の場」を保障することにあります。学童保育に求められる安全の基本的な考え方や、子どもとともに安全をつくりあげる視点、安全対策、危機管理、緊急時対応、コロナ禍での感染症対策などについて具体的に学びます。*第5課



7 学童保育指導員の職業倫理を考える

～チームで守る子どもの人権

講師 ● 高橋 誠(東京都文京区指導員・全国学童保育連絡協議会)

子どもによりよい「生活の場」を保障するためには、職員集団として子どもへの理解を深め、子どもとかがかわることが必要です。子どもが置かれている現状をふまえ、子どもの人権、指導員としての職業倫理、職員集団づくりのありかたについて学びます。*第1課2・第2課1・第11課1、2

理論講座 子どものことをより深くとらえるために専門的に学びます

理論講座

8 子どもの発達の仕組みを学ぶ

講師 ● 荒井育恵(元養護教諭)

学童保育でさまざまな言動をみせる子どもたち。それぞれの身体的、精神的発達の特徴を理解し、目の前の子どもたちが表現している行動や言葉の裏にある思いや要求を受けとめることが求められます。一人ひとりの子どもの成長をどう支えていくか、子どもの発達の仕組みについて学びます。*第2課2

9 発達障害の子どもたちの理解と支援

講師 ● 後藤隆章(横浜国立大学准教授)

学童保育の中で発達障害の子どもをどう支援するのが良いのか、共に生活する子どもたちへの理解やつながりをどのように築くのか。学童保育の日々の生活の中で発達障害のある子どものねがいを聴きとり、子どもに合わせた生活やあそびをつくるための具体的な視点について事例を通して学びます。*第2課3

特別講座 学童保育をめぐる情勢と課題、指導員の労働条件改善など運動に関わる問題を考えます

特別講座

10 学童保育と指導員をめぐる情勢と課題

講師 ● 西田隆良(全国学童保育連絡協議会会長)

コロナ禍において、学童保育への社会的認知は広がり、指導員は社会機能維持者(エッセンシャルワーカー)として期待されるようになりました。その一方で「従うべき基準(指導員の資格と配置人数)」の参酌化、大規模化、施設の問題点、運営主体の多様化、指導員の処遇改善など、施策そのものがもつ脆弱性も明らかになりました。学童保育の課題を知り、より良くするために何が必要なのかを学びます。*第1課4・第10課1、2・第12課